



働き方改革推進コンソーシアム
ワーケーション分科会
キックオフ・ミーティング
2021年7月8日（木）
16:00～17:30 @webinar

ワーケーション分科会 幹事会

本日のアジェンダ

1. ワークーション分科会についてのご説明
 - (1) ワークーション分科会の設立目的
 - (2) ワークーション分科会の幹事会メンバーご紹介
 - (3) 今後の活動の予定
2. ワークーションって何？ 言葉上の定義
3. ワークーションの実証実験についてのプレゼンテーション
4. ワークーションの本分科会における定義
- 5.

設立目的

働き方改革の一貫として
ワーケーションの実践を社会全般に広め
定着の素地を作ること

幹事メンバー

佐藤豊美 株式会社レイ

西田泰彦 株式会社XEENUTS

斎藤元秀 株式会社イメージ情報システム

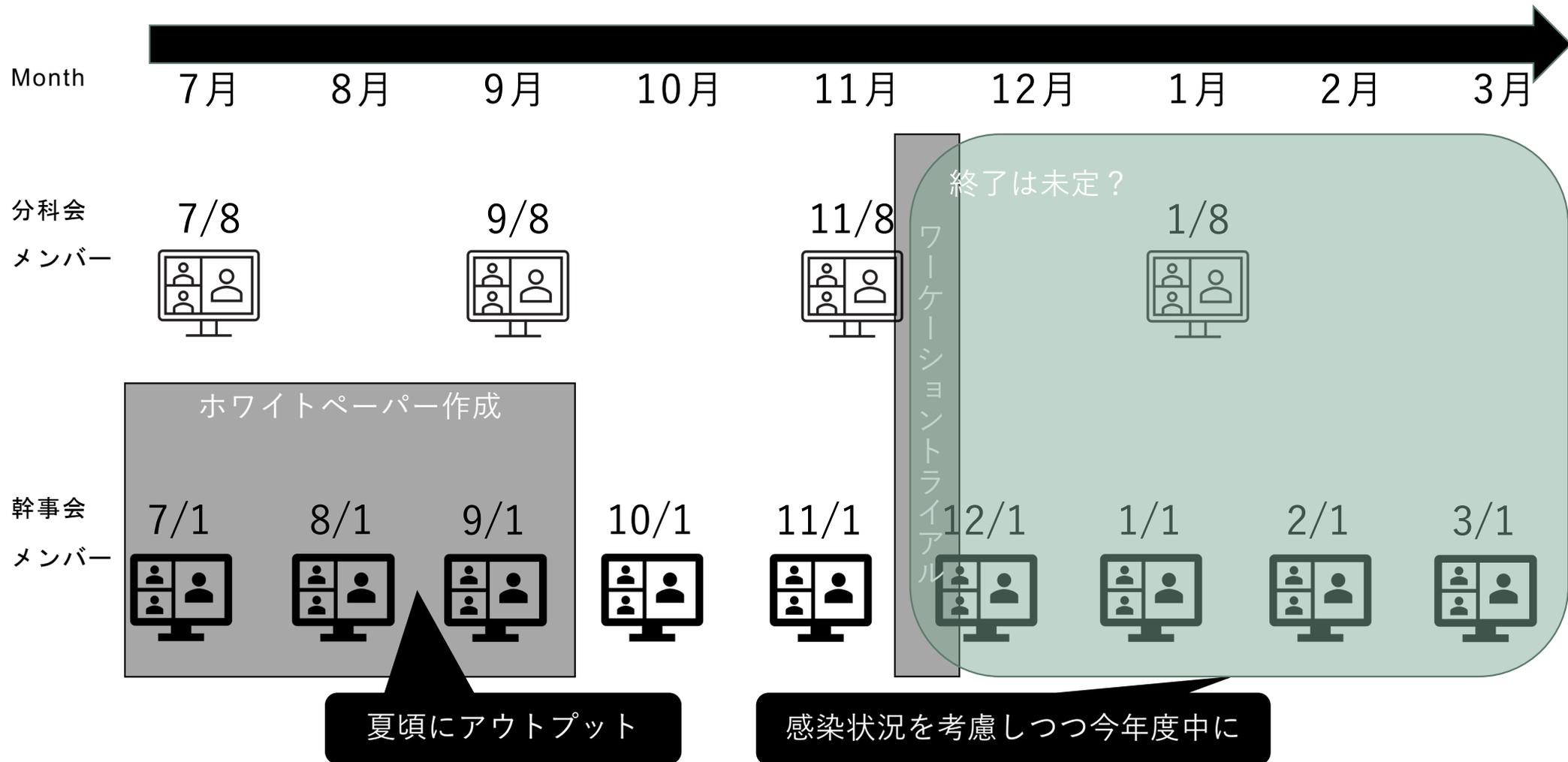
原周太郎 株式会社JTB

伊藤比奈野 株式会社JTB

活動概要

- ① ワークーションを進める上で社内に足りない点のテンプレート作り
(労務規定のサンプル等)
- ② ワークーション受け入れ側（施設や自治体、コンテンツ）のクライ
テリア模索と提案
- ③ ワークーションに関わるソリューション連携
- ④ **ワークーションのトライアル実施**
- ⑤ ワークーションの定着（社会実装）に向けての社会提言のまとめ
- ⑥ **ワークーション全般に関わるホワイトペーパーの作成**

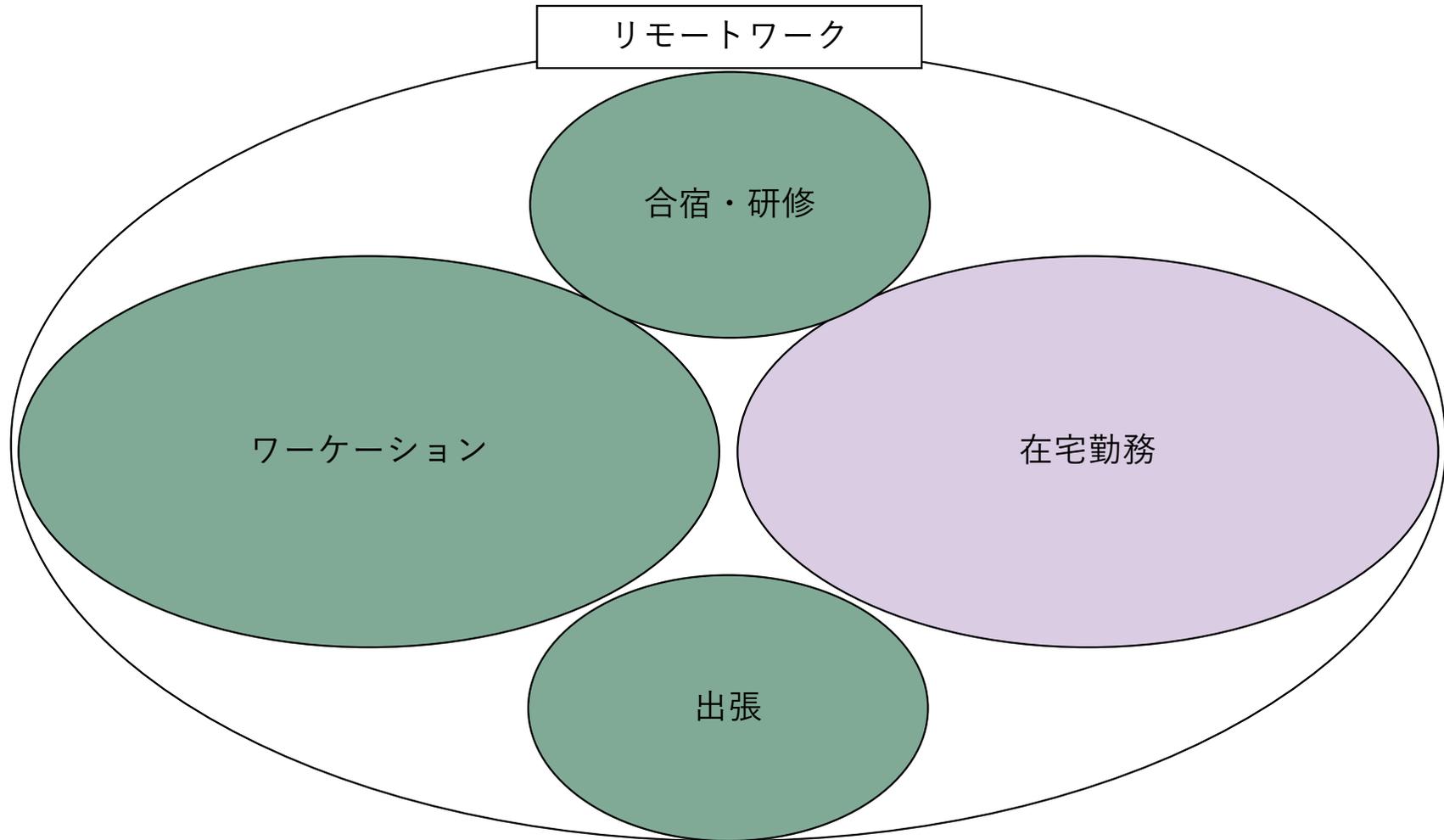
今後の活動



ワーケーションって何？

Goo辞書 Weblio	<p>《work（ワーク）+vacation（バケーション）からの造語》休暇中、特に旅行先でテレワークを行うこと。 [補説]従来のテレワークは、自宅やレンタルオフィスなど特定の場所で、時間を決めて行うのが原則とされていたが、ワーケーションではその制約をなくし、長期休暇の旅行先でのテレワークも、勤務と認められる。 出典：小学館「デジタル大辞林」</p>
コトバンク	<p>「ワーク」（仕事）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くこと。仕事と休暇を両立させる働き方として注目されている。</p> <p>例えば、普段働いている職場を離れて、通信環境が整った観光地などで、休暇を取りながらリモートワーク(遠隔勤務)をする働き方が、ワーケーションにあたる。企業などがリゾート地に拠点を設け、従業員が働きながら休暇を取る形式も含まれる。従業員側にとっては、普段と異なる環境で心身を休めながら仕事ができる、家族や友人らと過ごす時間が増やせる、繁忙期を避けて、安価に移動できるといったメリットがあり、企業側にとっては、従業員が有給休暇を取りやすくなり、有給休暇の取得率向上につながるなどのメリットがある。滞在先の地域からも、域外との交流人口の増加や、滞在の長期化による地元の経済振興につながるとして、期待されている。</p> <p>もともとは、有給休暇の取得率が低かった米国で、休暇でオフィスを離れ、旅先などにいる時も、電話会議や報告書の作成などをこなす働き方として広がった。</p> <p>日本では、1990年代ごろからIT企業を中心に、リゾート地に拠点を置いて創造性や生産性を高める取り組みが行われてきたが、情報通信技術の発展により、職種によっては場所にとらわれずに、職場とやり取りしながら働き、成果を上げることが可能になってきた。</p> <p>ワーケーションを積極的に導入する企業も出てきたが、仕事と休暇の線引きや、勤務時間の認定が難しいなどの課題もある。</p> <p>長期滞在が見込める観光地などでは、受け入れのための整備が進み、旅行会社は、ワーケーションができる企業向け新サービスの商品化に乗り出している。例えば、ビーチや温泉がある和歌山県白浜町は、南紀白浜空港近くに、町などが整備した高度な通信環境を備えたオフィススペースを整備し、IT企業などの誘致やワーケーションでの利用を推進している。長野県も、観光地で働く人の受け入れに力を入れる。自治体同士の連携も進み、2019年11月には、和歌山や長野など7道県と58市町村で構成する「ワーケーション自治体協議会」が設立された。</p> <p>(南 文枝 ライター／2019年) 出典 (株)朝日新聞出版発行「知恵蔵」</p>
JTB総研	<p>英語のWork（仕事）とVacation（休暇）の合成語。リゾート地や地方部など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うこと。あるいは休暇と併用し、旅先で業務を組み合わせる滞在のこと。</p> <p>仕事主体と休暇主体の2つの概念が存在する。</p> <p>ワーカー（従業員）にとっては、働く場所の自由度が高まるだけでなく、働く環境や時間など多様な働き方が可能になり、休暇取得推進や、健康の維持・増進の機会になる。企業側にとっては、従業員の休暇取得推進のほか、普段と異なる職場環境の整備により、従業員に創発の機会や場の提供、生活習慣改善などの健康啓発の場の提供が可能になる。一方、受け入れ側の地域にとっては、来訪者の拡大、ワーケーション参加者との交流による新たな産業創出など、長期的な関係人口創出により地域コミュニティの活性化が期待できる。</p>

ワーケーションって何？
働く場所の違いによる考察



ワーケーションって何？

費用負担と行き先（=働く場所）による分類の考察

